



ゆかりびと

第18回

栃木ゴールデンブレーブス 平山 大智 さん



憧れのプロ野球の世界へ 地元で愛される選手になりたい

小学2年生の時、お父さんに連れられて近所のクラブ練習に参加したことがきっかけで好きになった野球。それ以来野球と共に成長してきた大智さんは、大学を卒業し今春、矢板市出身選手第1号として、地元チーム・栃木ゴールデンブレーブスに入団が決まりました。

「チームのためにプレーできる喜びが野球の醍醐味」と話す大智さん。「一人ひとりのプレーの積み重ねが勝利につながる。大きな責任が伴うが、勝利した時はその何倍もうれしい」と話します。

高校時代は、矢板中央高校野球部に所属し、甲子園を目指し野球生活をスタートしました。しかし新型コロナウイルスがまん延、大智さんが3年生になる2020年は、夏の甲子園が中止になりました。当時は練習をすることも許されず、大智さんは初めて生活から野球を奪われるという経験をしました。バットを振ることができない期間もずっと野球のことばかり考えていて、「本当に野球が好き、これからも野球を続けたい」と自分の気持ちを再確認したと振り返ります。先が見えないコロナ禍という経験は、野球と大智さんの絆をより一層深いものにしていました。

憧れの選手はボストン・レッドソックスで活躍する吉田 正尚選手。豪快なフルスイングが持ち味のパワーヒッターです。「吉田選手のようにチャンスに強く、チームに頼られる存在になりたい」と話す大智さん。今の目標は「スタメンを勝ち取り、チームのリーグ優勝に貢献すること」。今回、野球人生をまた一つ上のステージへと進めた大智さん。少年の頃から夢見たプロ野球の世界へ、第一歩を踏み出します。

Editor's Note 編集後記

▷広報アンケートで情報提供いただき、ゆかりびと・平山君の取材へとつながりました。ゆかりびとには毎月たくさんの情報提供をいただいでいて、人気コーナーになっていることに感謝です。今後も皆さんとゆかりびとを盛り上げていきたいです!(DYC)

▷今号の取材では高校生カフェ・やいたび・矢高試食会・地産地消給食など、矢板産食材を味わえるイベントにお邪魔しました。どのイベントも地域の皆さんの協力のもと開催されていて、おいしさだけでなく、矢板市のあたたかさを感じました。(あ)